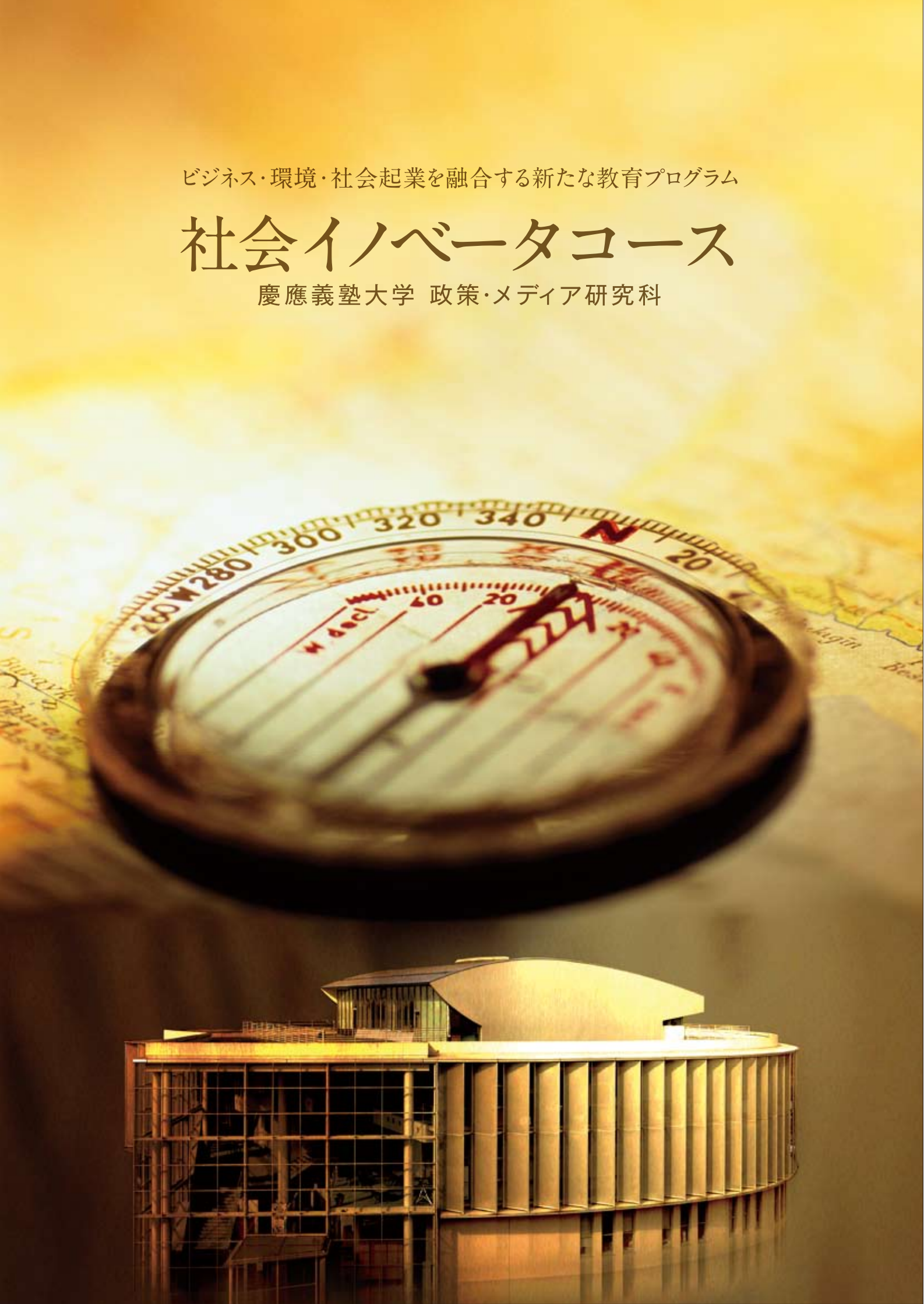
ビジネス・環境・社会起業を融合する新たな教育プログラム

# 社会イノベータコース

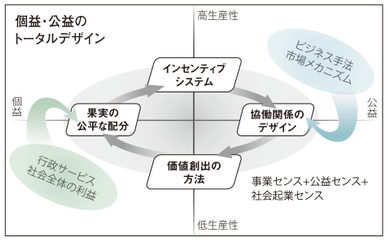
慶應義塾大学 政策・メディア研究科



# 環境・ビジネス・社会起業を融合する教育プログラムで、現代の社会ニーズに対応する“社会イノベータ”を育成します。

社会イノベータコースは、政策・メディア研究科の修士課程に設置された「プロフェッショナル育成コース」の一つです。持続可能かつ生産性の高い社会を作るための専門知識を備えると共に、実践的な問題発見・問題解決能力を身につけ、行政、ビジネス、非営利組織のいずれでも必要とされる事業センスと公益センスを兼ね備えた人材を育みます。

| | |
|---|---|
| 求める学生像 | ●発想の豊かな学部生　●さまざまな経験のある社会人　●国際感覚に優れた留学生 |
| 修了後の進路 | ●企業・自治体の企画室　●新規事業部のスタッフ　●環境マネジメント担当者<br>●NGOスタッフ　●起業家 |



## コースの特色

### 1 環境・ビジネス・社会起業を融合する知識・技能体系の学習

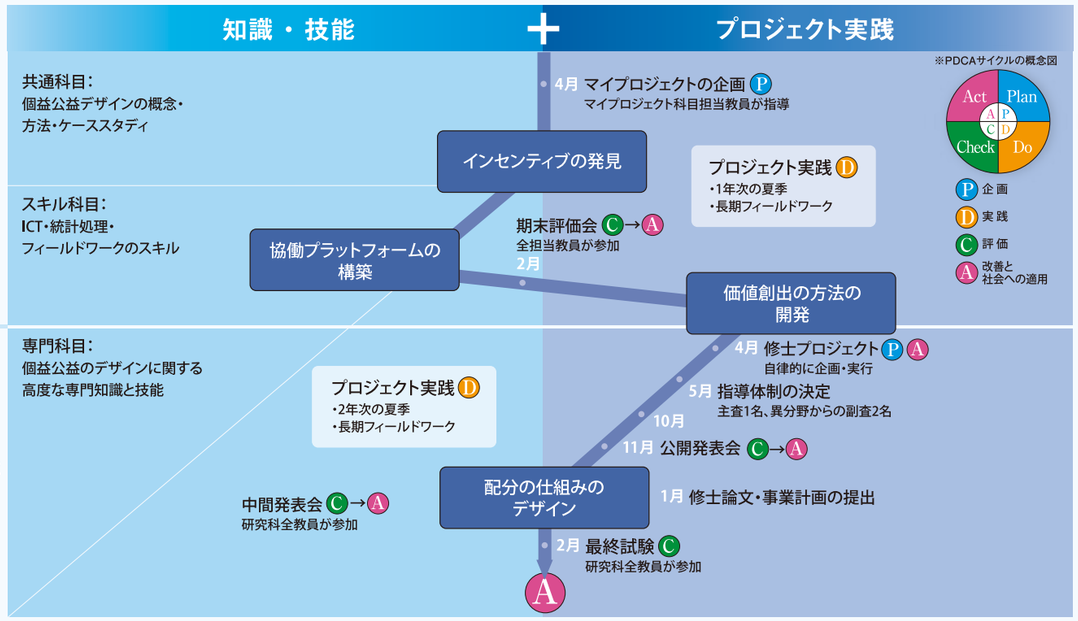
知識・技能の学習とプロジェクト実践二本立てのカリキュラム。
関連分野の専門知識を体系的に習得。

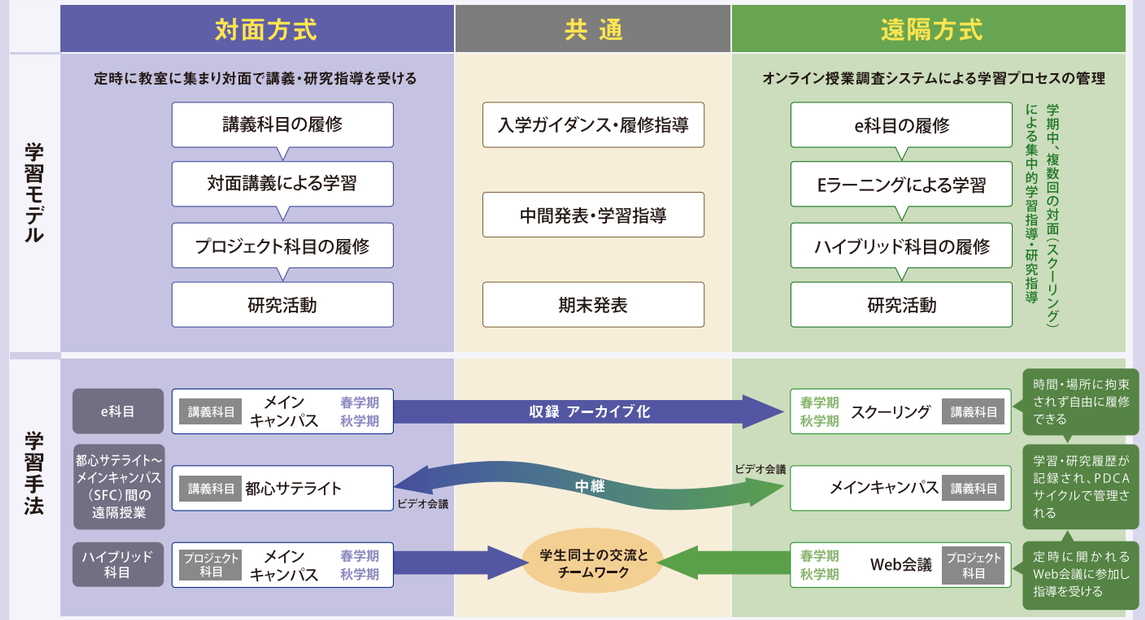
### 2 プロジェクト実践を中心としたアントレプレナーシップの醸成

自主的に研究プロジェクトを企画し、複数教員の指導とPDCAサイクル®の学習管理の下で実践を進める。

### 3 「対面／遠隔」を組み合わせたハイブリット方式の学習モデル＋学習手法

講義科目を収録してe科目で遠隔学習し、Web会議システムを通じてプロジェクト科目に参加する。
オンラインシステムによる学習履歴のPDCAサイクルの管理。




## 授業科目一覧

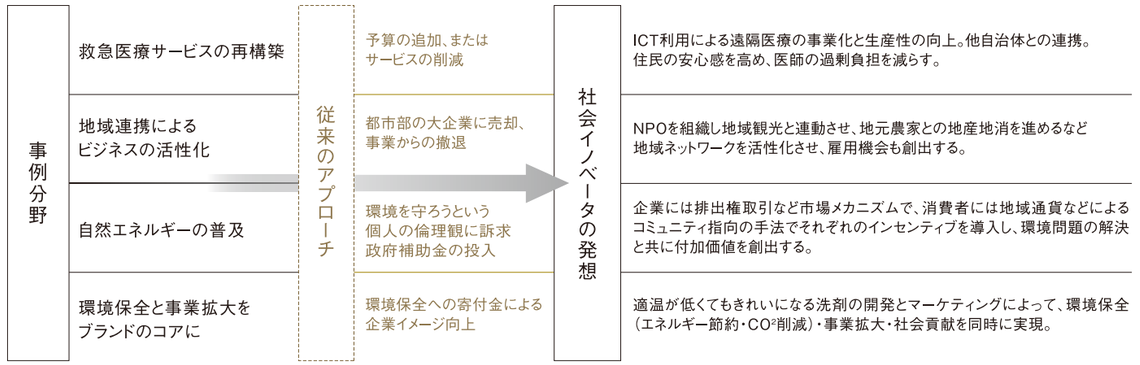
| 区分 | 科目名 | 履修区分 | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 共通科目 | 個益公益のデザイン | 必修 | 2 | 金子 郁容・國領 二郎・厳 網林・安井 秀行 |
| スキル科目 | 概念構築（リサーチデザイン） | 選択 | 2 | 金子 郁容 |
| | ソーシャルビジネスと評価 | 選択 | 2 | 村林 裕 |
| | ソーシャルファイナンス | 選択 | 2 | 井上 英之 |
| | ソーシャルビジネスの商品開発とプロモーション | 選択 | 2 | 井上 英之ほか |
| | 先端研究（ケースメソッド） | 選択 | 2 | 國領 二郎 |
| | ベンチャー経営論 | 選択 | 2 | 國領 二郎 |
| | 低炭素社会デザイン演習1・2 | 選択 | 各4 | 浜中 裕徳ほか　低炭素社会デザインコース共通 |
| | 環境フィールドワーク | 選択 | 2 | 一ノ瀬 友博 |
| 知識科目 | 低炭素社会設計論 | 選択 | 2 | 浜中 裕徳ほか　低炭素社会デザインコース共通 |
| | ポリシーマネジメント（政策形成とソーシャルイノベーション） | 選択 | 2 | 廣瀬 陽子 |

| 区分 | 科目名 | 履修区分 | 単位数 | 担当教員 |
|---|---|---|---|---|
| 知識科目 | 経営戦略特論 | 選択 | 2 | 榊原 清則 |
| | 社会起業とイノベーション | 選択 | 2 | 井上 英之 |
| | 社会イノベーションとデザイン | 選択 | 2 | 神成 淳司 |
| 専門科目 | 環境ビジネスデザイン論 | 選択 | 2 | 吉高 まりほか　低炭素社会デザインコース共通 |
| | ネットワーク産業論 | 選択 | 2 | 夏野 剛 |
| | 行政組織の経営 | 選択 | 2 | 上山 信一 |
| | 地域情報化論 | 選択 | 2 | 飯盛 義徳 |
| | ファミリービジネス論 | 選択 | 2 | 飯盛 義徳 |
| プロジェクト科目 | 社会イノベータ・プラットフォーム | 各学期必修 | 2 | 玉村 雅敏ほか　コース担当教員 |
| | ネットワークコミュニティ | 選択 | 2 | 金子 郁容ほか |
| | プラットフォームとビジネス | 選択 | 2 | 國領 二郎ほか |
| | 環境とビジネスのイノベーション | 選択 | 2 | 厳 網林ほか |
| 修士プロジェクト | フィールドワーク | 選択 | 2 | 各担当教員 |
| | 修士論文・他 | 必修 | 2 | 各担当教員 |

## 社会イノベータサティフィケートの要件

共通科目2単位、スキル科目・知識科目・専門科目合計12単位以上、プロジェクト科目8単位以上、修士プロジェクト（修士論文・他）2単位以上を習得し、合計34単位以上（社会イノベータ・リフレッシャー科目として指定されている学部科目も含めることができる）を取得していること。

## 社会イノベータが活躍する事例分野



# 学生たちが送る、充実の大学院生活。
# 「学び」だけではない多忙な日々を乗り切る、志と自己管理術。

## 効率的時間活用で、仕事も家族の時間も大切にできる。
## 同僚や職場の理解を得る工夫も取り入れています。

### 山川 勇一郎 34歳
Yuichiro Yamakawa

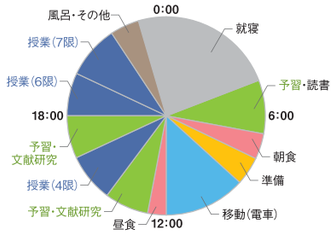
慶應義塾大学総合政策学部卒業
2009年9月
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
政策・メディア専攻 社会イノベータコース 入学

**社会人としての顔**
NPO法人ホールアース研究所勤務。企業との協働を推進するCSR推進室、JICA、インバウンド等を管轄する国際室の担当コーディネーター。現在在職8年目。

私は現在、自然体験・環境教育をベースに持続可能な社会づくりを目指すNPO法人で働きながら大学院に通っています。社会人になって再度学生として学ぶ身としては、現場で応用可能な知識と理論を習得したいという思いが第一にあります。そのため、経験豊富な先生方がご自身の経験を元に具体的な事例を交えてお話していただけるのは非常に刺激的で勉強になります。

大学院入学後の自己管理ポイントは色々ありますが、課題・読書など集中が必要なものについては、朝5時～7時、もしくは子どもが寝ている時間（21時以降）に行っています。電車での長い移動時間（3時間程度）はメールのチェックや読書に充て、キャンパスでも仕事の電話は基本的に繋がるようにして、急ぎの案件は遠隔対応しています。また、職場では自分のスケジュールをボードに記載して見える化したり、ブログで近況をアップすることで、仕事の同僚、取引先、大学院の同期などの関係者に自分の行っていることを伝えるようにしています。忙しい日々ですが、平日は夕食と子どもの入浴（20-21時）は行い、週1日は完全な休息日を極力作るようにするなど、家族団らんの時間を大切にしています。

**■ある一日のスケジュール**




**■週間スケジュール**

| | 5:00 | 7:00 | 8:15 | 11:30 | 19:30 | 21:30 | 1:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 月曜日 | 休み | → | | | | | |
| 火曜日 | 課題 | 食事等 | 移動（→SFC） | 授業（SFC・三田） | → | | |
| 水曜日 | 課題 | 食事等 | 移動（→自宅） | 休み | → | 授業（WEB会議） | → |
| 木曜日 | 課題 | 食事等 | 仕事 | → | 食事・育児 | | |
| 金曜日 | | 食事等 | 仕事 | → | 食事・育児 | | |
| 土曜日 | | 食事等 | 仕事 | → | 食事・育児 | 読書・課題 | → |
| 日曜日 | | 食事等 | 仕事 | → | 食事・育児 | 読書・課題 | → |

**スケジュールについて**
今期は授業を集中させ、火曜日のみSFCに通っています。その夜は茅ヶ崎の妻の実家に泊まり、翌日水曜日に富士宮市の自宅に戻って深夜のWEB会議に出席しています。仕事は週4日勤務（社内規定により週4日以上は常勤扱いとなるため）。仕事は富士宮市で行う場合と出張するケースがあります。土日はキャンプ指導など現場の仕事が入る場合が多いです。

## 毎週ストレスを上手に発散するのも、
## 仕事と勉強を両立させる大切なポイント。

### 田宮 友恵 43歳
Tomoe Tamiya

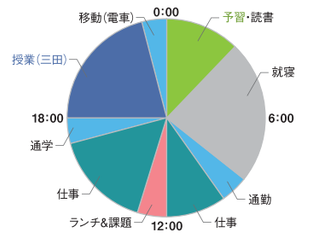
2009年9月
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
政策・メディア専攻 社会イノベータコース 入学

**社会人としての顔**
開発援助コンサルタント、日本国際協力センター新規事業部アドヴァイザー。1997年からほぼ12年間、途上国3ケ国で開発援助のプロジェクトに携わり、2009年に帰国。帰国後はODA海外プロジェクトの自立化に関する調査や提言を作成しています。

私は2009年1月に、10年以上にわたり海外の途上国で生活していました。そこでODAの仕事に携わっていたのですが、経験を積めば積むほど「ODAの仕事をもっと効率化できないものか」と考えるようになりました。ちょうど今年帰国した際、自分が行ってきたプロジェクトの自立化について考える時期と重なっていたため、そのようなことが勉強できるところはあるだろうかと調べてみたところ、「個益と公益」などの内容は普通の開発援助系の大学院では全く扱われておらず、SFCの社会イノベータコースだけが唯一コンセプトとして扱っていたのです。元々大学院には行きたかったこともあり、入学を決めました。

仕事をしながらの学生生活は授業と課題に追われてまだうまく両立しているとは言えませんが、金曜日の夜だけは友人との飲み会の日と決め、土曜日か日曜日のどちらかは、朝は目覚ましをかけずに寝たいだけ寝るなど、1週間分のストレスをうまく発散しています。どんなに忙しくても、どんなに遅い時間からでも、1週間に1本は映画を観るということは、精神的には重要です。また、夜中に挫折をしそうになると、大学院の友人たちと深夜メールして励まし合います。

**■ある一日のスケジュール**




**■週間スケジュール**

| | 8:00 | 9:30 | 12:30 | 13:30 | 21:00 | 22:00 | 0:00~3:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 月曜日 | 起床 | 出勤 | 昼食&課題 | 仕事 | 退社 | E-科目受講 | 課題 |
| 火曜日 | 起床 | 外勤 | 昼食 | 退社[17:20] | 授業（三田）[18:10] → | [22:00] | 課題 |
| 水曜日 | 起床 | 外勤 | 昼食&課題 | 仕事 | 退社 | 授業（WEB会議） | 課題 |
| 木曜日 | 起床 | 出勤 | 昼食&課題 | 退社[14:00] | 授業（SFC）[16:30] → | [19:30] | E-科目受講 |
| 金曜日 | 起床 | 出勤 | 昼食 | 仕事 | 飲み会[20:00] | 帰宅 | DVD鑑賞 |
| 土曜日 | 寝たいだけ寝る 掃除・洗濯 | | 出勤 | 仕事 | 退社[21:00] | 課題提出 | E-科目受講 |
| 日曜日 | 寝たいだけ寝る | | 友人と食事・映画・買い物 etc | | | 帰宅・課題 | 課題 |

**スケジュールについて**
通常は深夜0時を過ぎてから大学院のための時間が始まり、3時前に就寝することは稀です。

## ワクワクする気持ちや好奇心が支える学生生活。
## プロの大学院生の自覚をもって、「よく学びよく遊べ」。

### 山田 貴子 24歳
Takako Yamada

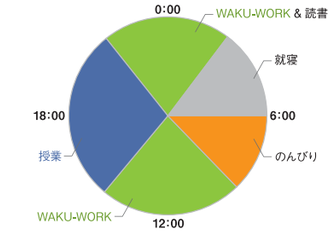
慶應義塾大学環境情報学部卒業
2009年4月
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
政策・メディア専攻 社会イノベータコース 入学

**学生以外の顔**
株式会社WAKU-WORK代表／湯河原ライフセービングクラブ所属

私は環境情報学部出身で、学部では国際協力とスポーツの2つの研究会に所属し、3、4年生の時にはフィリピンで計8ケ月間生活しながらフィールドワークを続けていました。スポーツというコミュニケーションツールを使って、国際協力に貢献できないかという思いでしたが、研究領域は2つに分かれており、それを融合できないジレンマも抱えていました。そんな時に出会ったのが社会イノベータコースです。フィリピンでの経験・活動を通し、国と人の持つ資源を活かして貧困層からムーブメントを起こす仕組み作りを研究していくには「ここしかない」と思い、入学を決意しました。

私の大学院生活の中心は「WAKU-WORK」。これは社会イノベータコースだからできる事だと思いますが、授業や研究会での学びはすべて“実践の現場”である「WAKU-WORK」に反映させています。そのため、仕事というべき「WAKU-WORK」、大学院での研究としての「WAKU-WORK」をうまく両立させることができています。自己管理の秘訣は、常に自分をワクワクさせること。好奇心旺盛に聞き入れ、自分の心をワクワクさせることで、課題も授業もすべて自分の実践に自然と活かせる学びを得る事ができます。また、井上先生から4月に教わった「プロの大学院生」という意識も大切。自分で選んで今この場で学んでいるのだから、きちんとプロ意識を持って日々を送るというその意識やワクワクした気持ちが、学生生活を支えています。でも結局は「よく学びよく遊べ」ができているから毎日が楽しいのです。

**■ある一日のスケジュール**




**■週間スケジュール**

| | 9:00 | 12:00 | 13:00 | 16:00 | 18:00 | 22:00 | 24:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 月曜日 | 研究会 | → | 授業のアシスタント | 帰宅&ENJOY! | | 寝落ち WAKU-WORK | 読書 |
| 火曜日 | WAKU-WORK | → | | → | 授業 | → | 読書 |
| 水曜日 | WAKU-WORK &ENJOY! | → | | | | → | 読書 |
| 木曜日 | 授業のアシスタント | → | 課題 | 研究会 | → | WAKU-WORK | 読書 |
| 金曜日 | WAKU-WORK &のんびり | WAKU-WORK &のんびり | WAKU-WORK &のんびり | WAKU-WORK &のんびり | WAKU-WORK &のんびり | WAKU-WORK &のんびり | 読書 |
| 土曜日 | 休み | → | | | | → | 読書 |
| 日曜日 | 休み | → | | | | → | 読書 |

**スケジュールについて**
暇そうに見えてしまうスケジュールですが、常に「WAKU-WORK」の仕事でフィリピンとスカイプで繋がり、空いている時間はすべてその作業に費やしています。また、就寝前の読書が日課で、1日1冊の読破が目標です。基本的に金土日は徹底的に好きなことをするようにしています。

## 朝型にシフトして自分の時間を捻出。
## バイトでの経験も将来の夢の糧にしたい。

### 笠木 恵介 23歳
Keisuke Kasagi

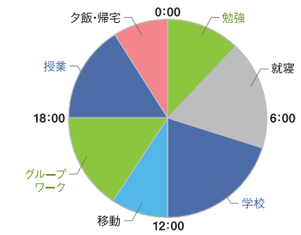
千葉大学園芸学部卒業
2009年9月
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
政策・メディア専攻 社会イノベータコース 入学

**学生以外の顔**
奨学米プロジェクト代表／レストランアルバイト

私は大学4年の夏に就職が決まっていたのですが、100年に1度の金融危機によって会社の業績が悪くなり、内定先が倒産してしまいました。大企業、市場主義のもろさを目の当たりにして、今の世の中は大きな変革期にあるのだと感じました。若いうちに大きなチャレンジをしたいと考えていたこともあり、学問を実践的に、領域横断的にできそうな社会イノベータコースへの入学を決めました。

私には「学び」以外にもやりたいことがたくさんあります。やりたいこと、やらなければいけないことが多すぎて、時間が足りません。やりたいことをうまくやれる自己管理の秘訣にはすごく興味があります。最近は、朝早く起きて作業すると、誰からも邪魔されることなく自分の時間を作ることができるとわかってきました。

**■ある一日のスケジュール**




**■週間スケジュール**

| | 9:00 | 13:00 | 15:00 | 20:00 | 21:00 | 27:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 月曜日 | ゼミ | 授業 | 課題（図書館） | 夕食 | 課題（図書館） | 就寝 |
| 火曜日 | 授業 | 三田に移動 | 授業 | → | → | 就寝 |
| 水曜日 | 三田で作業 | 人に会う | 人に会う | 人に会う | 遠隔授業 | 就寝 |
| 木曜日 | ミーティング | 三田で作業 | 三田で作業 | アルバイト | → | 就寝 |
| 金曜日 | 三田で作業 | 三田で作業 | 人に会う | アルバイト | → | 就寝 |
| 土曜日 | ミーティング | 三田で作業 | 人に会う | アルバイト | → | 就寝 |
| 日曜日 | 休み | → | | | | → |

**スケジュールについて**
農業支援NPO「農家のこせがれネットワーク」が中心となって作る農業実験レストラン「六本木農園」でアルバイトをし、企画の作り方を学んでいます。

# 開放感あふれるゆとりのSFCメインキャンパスと、利便性の高い都心での学びの拠点、三田サテライト・オフィス。

社会イノベータコースでは、都市部で働く社会人でも授業が受けられやすいよう、
慶應三田キャンパスのほど近くに専用のサテライトオフィスを構えています。
メインキャンパスであるSFCとは最新の遠隔授業システムによって結ばれており、
学生の都合に合った場所で授業を受けることができます。

## SFCメインキャンパス

タウ館

タウ館内教室は3面にスクリーン。
遠隔授業システムに対応し、AV施設も充実しています。

3階までの吹き抜けは大きなガラス張り。開放感いっぱいのフリースペースは学生に人気です。

## 三田サテライト・オフィス

教室、ディスカッションスペース、OAスペースから成る三田サテライト・オフィス。
人数に応じた、フレキシブルな空間利用も可能です。

遠隔授業システムによって、SFCとも繋がっています。

三田サテライト・オフィスでの授業。遠隔授業システムで授業を受けるSFCの学生が、モニタに映し出されています。

蔵書は和洋書とりまぜ200〜300冊。社会起業、社会問題、経済、環境、デザインなど各分野の名著を含む多彩な本が収蔵され、学生たちに利用されています。

OAスペースのハイスペックPCは学生も利用。

窓際の明るいディスカッションスペース。
ホワイトボードの机が便利と学生や先生方にも好評です。

# 社会イノベータコース 教員のご紹介

### 世界の経済システムが急変する中、まさに、時代のニーズに応えるプロフェッショナル育成コースがSFCの大学院にできました。

**金子（かねこ） 郁容（いくよう）**

政策・メディア研究科教授兼
総合政策学部教授

慶應義塾大学工学部卒。
スタンフォード大学Ph.D.。
ウィスコンシン大学計算機学科準教授など
アメリカに12年滞在後、帰国。
一橋大学商学部教授を経て94年より現職。
07年より研究科委員長。

■研究分野
もともとは応用数学やコンピュータでしたが、阪神淡路大震災でのボランティア支援ネットワークを作って以来、新しい時代の要請に応える社会システムの改革に関心を持ち、現在は、社会イノベーションを教育・医療・市民参加の分野で実現することを実践しています。

■活動事例
2000年に教育改革国民会議の委員として、公立学校のイノベーションであるコミュニティスクールを提案し、2004年に法制化され、全国に350余のコミュニティスクールが誕生しています。現在、構造改革特区の教育部会長として、また、遠隔医療懇談会の座長として、社会イノベーションの実現の支援をしています。

### 私たちが直面する問題は問題を作ったときの方法では解決されません。社会を持続可能な方法で発展できるイノベータになろう。

**厳（げん） 網林（もうりん）**

環境情報学部教授兼
政策・メディア研究科委員

1992年東京大学大学院工学系研究科
土木専攻博士課程修了。工学博士。
地理情報技術並びに都市・地域環境の
イノベーションへの応用を研究。
01年より現職。

■研究分野
“Think globally, act Locally”をモットーに、国内・国外のフィールドを対象に、地域環境の再生と社会の持続可能な発展の実問題を、地理情報調査とプロジェクト実践を通じて、地域環境の再生計画・環境ビジネスの提案・情報サービスの開発を行っています。

■活動事例
NPO・企業・大学・住民が協働するプラットフォームのもとで砂漠緑化による$CO^2$吸収を調査し、京都議定書のCDM（クリーン開発メカニズム）プロジェクトを実践しています。この仕組みをカーボンオフセットに適用し、環境イノベーションへ広く発展する方法を研究しています。

### 研究、教育、プロジェクト実践の相乗効果によって、イノベーションを巻き起こすための実践知を創造します！

**飯盛（いさがい） 義徳（よしのり）**

総合政策学部准教授兼
政策・メディア研究科委員

慶應義塾大学大学院経営管理研究科
博士課程修了。博士（経営学）。
松下電器産業（株）、ファミリービジネス経営、
ベンチャー起業などを経て現職。
NPO鳳雛塾副理事長、総務省などの
各種委員を務める。
主著に『元気村はこう創る』ほか。

■研究分野
実践、フィールドワークを通じて、戦略論、組織論などの視点から、地域情報化、まちづくり、地域リーダー育成、伝統産業再生、多様な主体の協働メカニズムなどの研究に取り組んでいます。地域の問題解決を図り、学術的、社会的に貢献することを目指しています。

■活動事例
研究会のメンバーと全国各地に赴き、高校生を対象としたアントレプレナーシップ育成、地域のビジネススクール推進、ファミリービジネスや伝統産業、農水産業活性化などの研究プロジェクトを推進しています。これらの活動は全て事例教材化し教育に活用しています。

### 誰もが、社会の変化に関わることができます。自分と世界、実践と研究をつなげたい、パッションあふれる学生とこのコースで出会いたい！

**井上（いのうえ） 英之（ひでゆき）**

総合政策学部専任講師（有期）

慶應義塾大学経済学部、ジョージワシントン
大学大学院卒（公共経営）。
ワシントンDC市政府、アンダーセンコンサル
ティング、NPO法人ETIC. に勤務後、05年
秋より現職。

■研究分野
社会起業論。実践を意識した、個人からのソーシャルビジネスのスタートアップや経営、ソーシャルベンチャーへの投資、及び、社会イノベーションの拡散（Diffusion）をテーマに、事業のスケールアウト（他地域展開）、デザインやアートといった右脳的要素の活用に向けて研究しています。

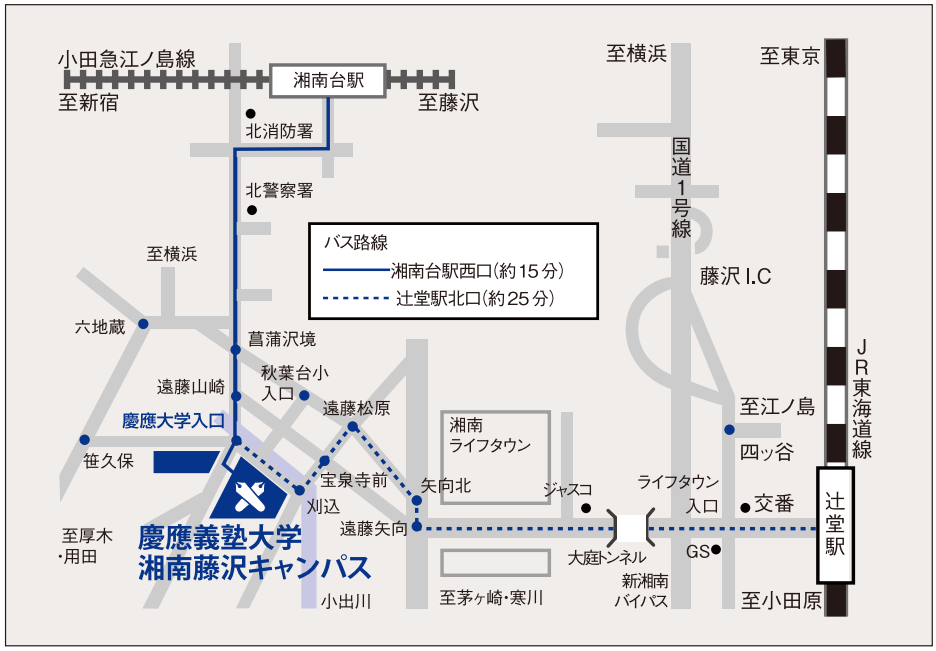
■活動事例
日本初の社会起業プランコンテスト「STYLE」の開催、社会起業向け投資組織「ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京」、他に、社会起業によるイノベーションの普及研究グループ「Designing Social Innovation」プロジェクトなどに携わっています。

## 主要担当教員

| 担当教員 | | 専門分野 | 担当授業科目 |
|---|---|---|---|
| 金子　郁容 | 教授 | コミュニティ論 | 個益公益のデザイン |
| 國領　二郎 | 教授 | 経営情報システム | プロジェクト：プラットフォームとビジネス |
| 厳　網林 | 教授 | 持続可能科学 | プロジェクト：環境とビジネスのイノベーション |
| 上山　信一 | 教授 | 企業経営戦略 | 行政組織の経営 |
| 浜中　裕徳 | 特別研究教授 | 地球環境政策 | 低炭素社会設計論 |

| 担当教員 | | 専門分野 | 担当授業科目 |
|---|---|---|---|
| 一ノ瀬　友博 | 准教授 | 環境学 | 環境フィールドワーク |
| 飯盛　義徳 | 准教授 | 地域情報化 | 地域情報化論 |
| 玉村　雅敏 | 准教授 | 公共経営 | プロジェクト：社会イノベータ・プラットフォーム |
| 井上　英之 | 専任講師（有期） | 社会起業論 | 社会起業とイノベーション |
| 神成　淳司 | 准教授（有期） | コンピュータサイエンス | 社会イノベーションとデザイン |

## SFC周辺地図





慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス

Keio University Shonan Fujisawa Campus (SFC)

**大学院政策・メディア研究科**

〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤5322

http://www.sfc.keio.ac.jp/


**社会イノベータコースのお問い合わせ**

http://si.sfc.keio.ac.jp/

social-innovator@sfc.keio.ac.jp